

令和7年度 租税教育活動プレゼンテーション一覧

<最優秀賞>

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥栖(佐賀) ○小学校6年生 ○3クラス 118名 	<p>【租税教室（歴史で学ぶ税の時間旅行）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・租税教室を実施するにあたり、より児童の理解を深め、税に対する距離感を縮めるために青年部会でどのような工夫ができるか検討。 ・地域の特色と租税教室を組み合わせ、税を身近に感じることができる内容を考案。 ・「歴史で学ぶ税の時間旅行」、「顔の見える税金クイズ」、「今と未来の税を考えるグループワーク」を三本柱として、これまで以上に税の思いやり精神や税を身近に感じることができる教室を開催し、鳥栖法人会の活動の活性化にもつながった。

<優 秀 賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
東 京	<ul style="list-style-type: none"> ○板橋（東京） ○小学4年生 ○5クラス 178名 	<p>【租税教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会は「知識を超えた思いやりの教育」を活動理念として租税教育を実施。・子どもたちに税への理解を深めるだけでなく、社会への思いやりを育むことを目的として、子どもたちが楽しみながら税の大切さや納税の意味を学べるよう、昔話をアレンジした税金落語や、地図パネルを用いて税金の使われ方を考える体験型クイズを実施。 ・地域のお祭りへの参加など、教育と地域貢献を融合させた取組みによって、税を通じた社会貢献の輪を広げていく。
熊 本	<ul style="list-style-type: none"> ○鹿屋肝属（鹿児島） ○市内の小中学生 ○子ども500名 ○大人 500名 	<p>【地域と連携したTAXダンジョン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県鹿屋市の子ども達を対象とした自立型・体験型租税教育プログラムである「TAXダンジョン」を地域と連携して実施。 ・これまでの当会の租税教育プログラムである「託してみよう税」と「宝探しだ税」を統合し、ブラッシュアップしたもの。 ・「楽しさ」、「主体性」、「共に学ぶ」という3つの観点を取り入れたもので、子ども達が税について考え、理解し、学習する機会を提供できた。

<奨励賞>

*掲載順番は局連順です

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
東 京	<p>○鰺沢（山梨）</p> <p>○小学校6年生</p> <p>○17校 （管内全て） 250名</p>	<p>【「租税教室 未来へのおくりもの」制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで青年部会・女性部会合同で租税教室を実施していたが、学校側都合により実施率が50%程となっていた。 ・実施率100%を目指し、元々行っていた寸劇を交えた租税教室を、地元密着の短編映画という形で映像化し、訪問をしなくても租税教室を実施できるように考えた。 ・管内在住の映画監督「矢崎 仁司」氏に制作を依頼することで、制作・オーディション・完成試写会等の場面で新聞に掲載され、法人会活動の周知にもなった。 ・完成した短編映画は管内小学校に無料配布もおこなうことで、今年度の実施率は88%となった。 ・今後は租税教室を実施した小学校を対象に児童が記入した「ディスカッションシート」の返送をお願いし、当該シートのHP掲載を検討している。
関 東 信 越	<p>○西川口（埼玉）</p> <p>○小学校6年生、 中学校3年生</p> <p>○小学校 8校 中学校 2校 （37クラス 2,460名</p>	<p>【租税教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで児童集合型で租税教室を実施していたが、コロナ禍により、クラス別授業で実施することとなった。 ・教材の刷新やアクティブラーニング形式への移行など、内容を抜本的に見直した結果、講師の負担が少ない授業モデルを構築できた。 ・合わせて青年部未加入者への見学会を開始し、講師としての租税教室の魅力を伝えた結果、令和4年度～令和6年度において、5名の新規入会者が講師としてデビューした。 ・講師数は延べ36名となり、本見学会を機に入会したメンバーも含め、多数の会員が租税教室に関わるきっかけとなった。
札 幌	<p>○富良野地方 （北海道）</p> <p>○小学校5・6年生</p> <p>○50名</p>	<p>【富良野発！キャリア教育から広がる“思いやり”の租税教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題である人口減少やコミュニティの希薄化に着目し、「キャリア教育×租税教育」を融合した独自の租税教育を企画。 ・子どもたちが「働く→稼ぐ→納める→使う→支える」を体験的に学び、税が社会を支える仕組みであることを実感するとともに、「誰かのために」という利他の心を育む場を創出。 ・家庭や地域団体も加わり“地域全体で「まちを支える心」を育む租税教育”を目指す。

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
仙 台	○鶴岡（山形） ○小学校6年生 ○小学校 15校 （鶴岡市内） 497名	【鶴岡法人会版 租税教室 ぼく・わたしの意見】 ・ これまでは講師の説明→アニメDVD放映といった授業内容だったが、より身近に感じてもらえるよう鶴岡市の財政と課題を題材にした内容に変更。 ・ 鶴岡市の課題である、人口減少・少子高齢化による弊害や問題について考えてもらい、「自分が市長だったら」という前提のもと、予め設定した5つの対策案の中から選んでもらい「ぼく・わたしの意見」としてその理由も付記。 ※5つの対策案は以下のとおり ①育児に対して応援する ②高齢者にやさしい環境を整える ③学校やコミセンなど新しい建物をつくる ④道路や空港、新幹線などを整備する ⑤SNSなど情報発信に力を入れ観光客を増やす ・ 意見を集約してデータ化し、子ども達の代表者から市長に直接手渡す機会を設けた。
名古屋	○四日市（三重） ○中学生以下を含む 家族チーム 年齢制限なしの 一般チーム ○13チーム 38人	【世界初？四日市発！税金ロゲイニング】 ・ チェックポイントで既定の撮影を行う「フोटロゲイニング」と「税金クイズ」を合体。税金に関するチェックポイントを巡り、クイズを解いて写真を撮影し得点を競う。 ・ 市内29箇所にチェックポイントを設置、チェックポイントでは税金に関するクイズを出題。 ・ 2人以上でチームを組み、制限時間内にチェックポイントを巡り、税金クイズに回答し、チェックポイントで写真撮影。 ・ ゴール時に「訪問ポイント」と「クイズ正解ボーナス」が付与され、制限時間を超過していた場合ポイントが減算される形で合計得点を競った
金 沢	○小松（石川） ○小学校5～6年、 及び保護者 ○児童 17名 保護者 16名	【見て学ぼう！税金とわたしたちのくらし】 ・ 石川県庁・議会議場・石川県警を見学。 ・ 「税金はどのように使われているか？」「誰が使い途を決めているか？」について見学を通じて学ぶ活動。 ・ 県庁では、県の仕事や税の使途について聞き、議場では議会がどのように開催されているかを聞き、県警では警察の仕事、安全・安心な暮らしを守るためにどのように税金が使われているかを聞いた。

局 連	実施会・対象・ 参加人員	概 要
広 島	○福山（広島） ○小学校 6 年生 ○57 クラス ○2,993 名	<p>【地域一丸で未来を創る～福山市内全小学校での“参加型租税教育” 20 年の軌跡～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『税のある世界』と『税の無い世界』の比較や身近な事例を通じて児童が主体的に参加して税の役割を学ぶアクティブラーニング型授業を展開。講師と児童との対話を重視し、自ら考え議論し発言する機会を提供。 ・毎年講師研修会を実施し講師の質を向上させ、高い教育効果を追求。 ・平成 18 年からの開催累計は 604 教室、受講生徒数 39,605 人（令和 7 年 3 月末時点）。令和 5 年以降は福山市内全 64 校で実施。租税教室開始 20 周年となる本年、5 月には受講生徒数が 4 万人を突破。教育委員会・学校現場との信頼関係により全校展開が実現。 ・福山市内の税務関係団体をつなぐ会である芦田川会を通じて、税務署・間税会・税理士会・青色申告会・法人会親会・女性部などが連携し、地域一体で租税教育を推進。
高 松	○脇町（徳島） ○小学校 6 年生 中学校 3 年生 (美馬市・つるぎ町) ○361 名	<p>【ともに学び、住み続けたいまちを創る 租税教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に税金の大切さだけではなく、住み続けたい「まち」はどのような「まち」なのか考えてもらい、住み続けたい「まち」を創るにはどうすればよいか、一緒に考える活動を実施。 ・前半はテキストを用いた租税教室を行って税金の仕組みについて勉強し、後半では、子ども達と青年部会員と一緒に税金の使い方を考えて住み続けたい「まち」を考え発表。 ・「どうすれば住民が増えるか」を念頭に、使い方だけではなく税収を増やす方法についても考えてもらった。 ・租税教室で出た意見を、行政にも届ける活動を実施。